

農林水産省、エン・ジャパンを通じ 輸出促進のプロ人材など3職種12名の採用が決定！

エン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木孝二）は、2024年7月に農林水産省の『ソーシャルインパクト採用プロジェクト』（<https://www.enjapan.com/>）を実施。輸出・国際局にて3職種を公募した結果、12名の採用が決定しました。下記、同省 輸出・国際局 採用担当 佐藤氏と採用者から3名のコメントを紹介します。

en ソーシャルインパクト採用プロジェクト

農林水産省 × エン・ジャパン

農林水産省、輸出促進の プロ人材など12名を採用。

「輸出・国際局」で働く3つの専門ポジションで採用決定。

■2024年7月8日公募開始時

プレスリリース：<https://corp.en-japan.com/newsrelease/2024/37820.html>

特設ページ：https://www.enjapan.com/project/maff_2024/

農林水産省 輸出・国際局 採用担当 佐藤治男氏 コメント

農林水産省輸出・国際局は、2030年に農林水産物・食品の輸出額5兆円を目標に掲げ、日本産の食べものが海外で高く評価され、海外のマーケットシェアが大きくなるよう、マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産業者を後押しすべく、施策の推進に取り組んでいます。海外規制への対応など新たに取り組む領域の課題も多く、多様な知見を持った人材が必要です。

そこで、昨年に引き続き、エン・ジャパンのご支援のもと、「国際担当」「輸出担当」「ブランド化担当」の3部門の経験者採用者を募集した結果、640件の応募があり、豊富な知識や経験、語学力等を有する12名の方を採用することができました。今回採用した12名の方には、これまで培われてきた十分な職務経験をはじめ、現場感覚や行政にはない視点を共有いただき、行政の舞台でご活躍されることを期待しています。

採用者コメント（一部）

■ 輸出・国際局輸出支援課



前職：SBIリーシングサービス株式会社、八王子市役所

コメント：

私は日本の農林水産物の魅力の発信、貿易交渉や輸出拡大戦略の企画、実行を手がけるという大きなミッションに魅力を感じ応募しました。私の市役所時代の「食」に関するキャリアと金融業界での英語を使用したビジネス経験を活かすことができると感じたためです。

配属された輸出支援課では、農林水産物・食品の輸出に際して、相手国が求める通関時に必要な証明書の発行及び交付を一元的に行うシステムの運用と改修を担当しています。私は、大規模システムの開発に携わった経験はありませんでしたが、新しい分野での挑戦と職責の大きさを楽しみつつ業務に取り組んでいます。

今後は、現行システムよりも突発的な改修を行いやすいシステムを構築し、令和9年に新たにシステムをリリースすることを目指します。輸出相手国の要求に迅速かつ、柔軟に対応できる環境を構築することにより、農林水産物の輸出額拡大に貢献していきたいと考えています。

■ 輸出・国際局国際経済課



前職：埼玉県警察

コメント：

これまで培った英語力を活かせる職を模索していたところ、農水省輸出・国際局の「国際社会の中で日本の代表として世界会議で英語での『対話』を担当、国益を守りながら未開拓な領域で新規開発を企画し、農水省の発展に関わるプロジェクトの一員として躍動できる人」という募集要項に惹かれ応募しました。

現在は、国際経済課で輸入に係る関税業務に携わっております。関税にも種類があり、私は主に発展途上国や後発開発途上国からの輸入品に適用される特惠税率の業務を担当しております。慣れない単語に四苦八苦しておりますが、上司にフォローして頂きながら、難題と戦っています。

今後は国際貿易を円滑に推進していく上で、弊害となる規制等への対応、各国との強力な関係性の構築等、国際専門職として知見を積み、様々な業務に積極的に関わっていきたいです。

■ 輸出・国際局国際地域課海外連携グループ

前職：東京国税局

コメント：

志望動機はズバリ「国際関係の仕事がしたい」です。世の中には外資系、商社など国際関係に携わる仕事はゴマンとありますが、民間企業では、利益ということで自分の仕事が左右される環境に身を置くことには抵抗がありました。また、企業よりも公的機関の方が大きな規模で仕事をできると思い、そのような機関がないかなと思っていました。そんな中、農水省が国際舞台で活躍できる人材を求めていることを知り、まさに渡りに船という感じですぐに応募しました。

採用後、分からないことばかりで大変ですが、日々チャレンジできることで充実して過ごしています。社会人経験があることで文書作成、対人コミュニケーションなど役立つ事は多くありました。当省では経験者採用者も一定数おり、中途採用ということで不公平な扱いを感じたことはありません。それどころか、自分の頑張り次第では在外公館への勤務の可能性も感じられる雰囲気があり、私自身も将来的には手を挙げて在外公館や国際機関への勤務を経験したいと思っています。

本プロジェクトにおける当社支援サービス

プレスリリースや特設ページ、Web広告での告知に加え、各求人サイトでの集客支援を実施。『エン転職』『AMBI』『ミドルの転職』とターゲットの異なる求人サイトを活用することで、ターゲットへ網羅的に求人を届けました。



「ソーシャルインパクト採用プロジェクト」とは



社会的なインパクトが特に大きい人材採用「ソーシャルインパクト採用」を、エン・ジャパンが全社を挙げて支援するプロジェクトです。中央省庁の幹部候補、自治体の副市長やDX担当、さらにはNGO/NPO・スポーツ団体・志ある企業の中核メンバー……等々、さまざまな募集を「入職後の活躍」までこだわって支援しています。優れた能力を「より良い世の中を作るため」に使いたい方と、より良い世の中を作るために優れた人材の力を必要とする団体を結びつけ、社会の課題解決を加速させていく一大プロジェクトです。

<https://www.enjapan.com/>

プロジェクト参画のご相談、取材・セミナーの登壇依頼などお気軽にお問合せください。
担当：中林 TEL：03-3342-6590 / MAIL：social_impact@en-japan.com

プロジェクト経由入職者の活躍に迫るYouTube番組『Impactors』
『ソーシャルインパクト採用プロジェクト』公式YouTubeチャンネルで公開中！

https://www.youtube.com/@socialimpact_en

■ 第1弾



<https://youtu.be/P7t3GywYJRU>

■ 第2弾



<https://youtu.be/OCyvr1YcwaQ>

■ 第3弾



<https://youtu.be/O91DphxTHSQ>

■ 第4弾



<https://youtu.be/-H3HT2WTYwQ>

本ニュースリリースに関する
お問い合わせ先

広報担当：清水・高田・齊藤・高田（竜）・國島

<https://corp.en-japan.com/>

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL : 03-3342-6590 MAIL : en-press@en-japan.com